

共同利用実施報告書(研究実績報告書)  
(研究集会)

1. 課題番号 2014-W-03

2. 研究集会名 (集会名の英訳もご記入ください)

和文: 「点と線」に注目した沈み込み帯の火山とプレート境界地震

英文: Connecting the dots and lines in subduction volcanism and earthquakes

3. 研究代表者所属・氏名 東京大学・地震研究所・市原美恵

(地震研究所担当教員名) 市原美恵・折橋裕二

4. 研究集会参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	旅費支給の有無
市原美恵	東京大学地震研究所・准教授	無
折橋裕二	東京大学地震研究所・助教	無
武尾 実	東京大学地震研究所・教授	無
青木陽介	東京大学地震研究所・助教	無
栗田 敬	東京大学地震研究所・教授	無
阿部祐希	東京大学地震研究所・研究員	無
三部賢治	東京大学地震研究所・助教	無
中井俊一	東京大学地震研究所・教授	無
三好雅也	福井大学教育地域科・講師	有
Pablo Grosse	CONICET, アルゼンチン・助教	有
Valerie Vidal	ENS-Lyon, フランス・CNRS 研究員	無
Claudia Adam	Virginia Tech, アメリカ・研究員	有
José Antonio Naranjo	SERNAGEOMIN, チリ・シニア研究員	有
新正裕尚	東京経済大学・教授	無
安間 了	筑波大学・講師	無
遠山知亜紀	海洋研究開発機構・研究員	無
萬年一剛	神奈川県温泉地学研究所・主任研究員	無
金 幸隆	神奈川県温泉地学研究所・研究員	有
吉本充宏	富士山科学研究所・主任研究員	有
常松佳恵	富士山科学研究所・研究員	有
平田大二	神奈川県立生命の星・地球博物館	無

5. 研究集会の概要 (200-400 字)

「そこになぜ火山があるのか」というのは、素朴ながら火山学の本質的な問題である。海溝軸に沿った火山の分布や特徴について、沈み込む海洋プレートに線状の不均質（断裂帯・海山列・海嶺等）のある先には、特異点として変わった火山が存在する，という傾向や，火山の分布とプレート地震のセグメント境界が一致する傾向に着目し，火山・地震・物質科学・地球ダイナミクス等，様々な分野の研究者と議論を行った。所内での研究打ち合わせ(7月7日) 研究集会（7月8日）の後，富士・箱根の野外調査（7月9日～11日）を行い，現地の研究者とも議論を行った。また，この研究集会の議論を受けて，基盤研究（A）(海外学術調査)に申請し，採択された(代表：折橋，H27-30)。

6. 延べ参加人数、研究集会の概要（100字程度）についてご記入ください（共同利用・共同研究拠点実施報告書に掲載します）

延べ参加人数            名

「そこになぜ火山があるのか」という，素朴ながら火山学の本質的な問題について，火山・地震・物質科学・地球ダイナミクス等，様々な分野の研究者と議論を行った。